

美術館の春まつり 所蔵作品展「MOMAT コレクション」

東京国立近代美術館（北の丸公園） 23. 03. 17～04. 09



当美術館は、皇居や千鳥が淵、北の丸公園といった桜の名所に立地していて、散策で巡るにも絶好のロケーションにあることから春にちなんだ催事である。

展示作品は、ピンクの花弁が目にも鮮やかな「船田玉樹」《花の夕》や、雨にけむる吉野の桜が抒情的な「菊池芳文」《小雨ふる吉野》、桜の絵を得意とした「跡見玉枝」《桜花図鑑》など華やかな屏風が勢ぞろいしている。さらに図案化の「杉浦非水」による草花を描いた版画集《非水百科譜》に、現代作家の「児玉靖江」《ambient light - sakura》も加えた多様な作品「約 30 点」などが展示されている。

船田玉樹 《花の夕》 1938 年 上図

会場の一室の花咲く名作は、ピンクの花弁が目にも鮮やかな作品である。

菊池芳文 《小雨ふる吉野》 左隻 1914 年 下図

雨にけむる奈良・吉野の桜が抒情的な作品となって仕上げられている。



川合玉堂 《行く春》 1916 年 紙本著色 六曲左隻・右隻屏風 重要文化財
本作品については、既に春の催事の展覧会として紹介済である。

そのほか、所蔵作品展「MOMAT コレクション」では、「13,000 点」を超える作品の中からよりすぐりの「約 200 点」を展示している。

また、春まつり展が終了後の 05 月 14 日までは、企画展「東京国立近代美術館 70 周年記念展 重要文化財の秘密」として、明治以降の絵画・彫刻・工芸のうち、重要文化財に指定された作品のみによる豪華な展覧会が開催されている。